

子ども・健康・環境 生き活きまちづくりの主役は住民



〒441-8108 豊橋市町畑町森田38-72
 南栄ふれあいセンター内 とよはし市民会議事務所
 電話・ファックス 0532-48-1203
 URL <http://www.toyohashi-noriko.net/>
 mail: watanabe@toyohashi-noriko.net
g-watana@mx2.tees.ne.jp (市役所)

私たちに一番身近な条例が誕生しました！

平 和、環境、子ども、教育、福祉。

すべてが、まず、身近なところで始まる。一人ひとりの心に平和のとりでを築くこと。家庭からの「ごみ」を出さない暮らし方を。赤ちゃんの笑顔が一番大切にする支援策を。高齢・障害ともに地域で支えあう仕組みを。

議 会&市民活動で得た「答え」に加え、「豊橋市男女共同参画推進条例*」を生かし、議会で提案と活動を継続します。次なる「子ども権利条例」豊橋版制定を期して。

(広報「とよはし」6月1日号の条例特集をご覧ください)



(ミニ視察) 「知的情報のスーパーマーケット」を目指す、岐阜県安八町立図書館訪問。梶井館長と。

豊橋市議会議員
とよはし市民会議代表

渡辺則子

お知らせ

- ① 3月議会日程はP8をご覧ください。
- ② 新聞折込み3月議会報告「て?ぶる 13号」4月30日発行。
- ③ 03年視察報告書「ゆっくり ゆっくり まちづくり」
②③ご希望の方にはお届けします。TEL 48-1203

* 男女共同参画とは・・・

(条例を私流にくだいてみました)

- ① 社会では男も女も対等
- ② 自分の意思で、家庭・職場・学校・地域の活動に参画できる
- ③ 男も女も同じように政治・経済・文化面での利益を受け、責任も担う

目次

- P 2?3・・・3月議会報告
 P 4?5・・・写真<春の巻>
 P 6・・・産廃と共存できるか?
 P 7・・・街かどデイサービス・活動日記
 P 8・・・6月議会案内

3月議会報告

渡辺則子一般質問Q & A (抜粋)

1. 総合行政を子ども、環境、文化、健康の諸課題で進めることについて

Q1: こども関連等施設について：子どもに関する総合相談窓口としての整備方針は？

答弁: 子育てには、健康、育児、教育など、成長過程に応じて、不安や疑問が伴う。各種の機関や窓口が機能しているが、この施設では、気軽に、簡単に情報が入手できる「窓口」を、福祉や教育と連携して検討中。

のりこコメント: 心のケアから適切な対応まで、すべては、まず親からの第一声を受け止めることから始まる。時には、声なき相談も。子どもの問題は待たなし。子ども施設には是非、この窓口の充実を。そのために「人」の確保が最重要課題と考えます。

Q3: まちなかに文化ホールを：子ども・市民・そして専門家も満足して使うことのできる施設が必要。市内に点在する文化ホールについて総合的な観点から整備計画を進め、位置づける考えについて。

答弁: こども関連施設のホール機能は、200から300席程度の小規模で、市民が使いやすいものとし、専門性の高いホール、大規模なホールとは役割を異にする方向で考えている。また、他のホールとの関係も、その役割分担や連携には十分調整を図っていきたい。時間があるので、意見を参考に、慎重に進めたい。

のりこコメント: 市民が使いやすいということは、専門家が使うこともできることに通じる。またこども施設であるからこそ、質の高いホールが求められる。ホールはステージと客席の双方の満足が必要と、今後も音楽専門ホールに整備計画が進むよう、声を上げていきます。

のりこの考え:

縦割り、横並び、どちらも問題がいっぱい。縦横に柔軟に機能する仕組みが存在しない限り、まちづくりは進まない。この10年を振り返って「ボランティア」が官民協働のキーワードとなりつつある今だからこそ、総合化の課題を取り上げました。

Q2: 環境基本計画や廃棄物総合計画への見直し：環境と農政の連携が必要。南部地域は、公共・民間双方の廃棄物処理施設の多くが立地しているが、表浜には野外教育施設など、環境教育にとって重要な場所。正面から向きあう計画へと転換をはかる考えについて。

答弁: 環境基本計画と廃棄物総合計画の見直しを平成16、17年度で実施。総合的な計画のため、様々な角度からの検証が必要で、環境文化都市の実現を支える計画に相応しい見直しをしていく。

のりこコメント: 現実の問題から出発することが、環境文化都市への一番の近道。農業・環境・市民の健康は密接な関係にあることを再確認することが重要。

Q4: 安全な食・健康・女性就農者を「学校給食」でつなげて進める施策について

答弁: 豊橋産農産物の学校給食自給率は57%で、さらに高めるよう取り組み中。女性就農者、高齢農業者の共撰共販による地元消費で活躍の場が広がり、遊休地解消の一助となっている。また豊橋産米100%使用米粉パン試作、出荷基準に満たない生鮮農産物を加工することなどで、働きがい、農業の活気を期待できると考えている。

のりこコメント: 生ごみを堆肥化し、その畑でとれた野菜を給食に。女性の起業支援を通して、地域・学校の連携ができるよう、情報を集めたい。

2. 厳しい財政下で進める行財政運営の課題について

PFI事業…行政施策において、民間の資金、ノウハウの活用で、コスト削減、サービスの質の向上を図ろうとするもの。

Q1:PFIへの取り組みにおける、住民意見の重視、情報公開のあり方

答弁:平成11年庁内研究会立ち上げ、平成14年10月「豊橋市PFI基本指針」をまとめ、具体的検討の段階に入っている。公共事業での行政の責任遂行には、情報公開は基本で、事業の効果や住民ニーズの把握に努め、効果的・効率的な事業の推進に努力する。

のりこコメント:こうした取り組みで、常に求められるのは、行政側の徹底して自らの行政手法を点検する姿勢と、積極的な市民参画。双方を見定めながら、効果を財政面と市民満足度からチェックするのが議会と考えます。



平成16年度「すこやか安心型予算」に とよはし市民会議は賛成しました。

3月10日～22日にわたって行われた予算特別委員会における、のりこの質疑項目のあらましをご紹介します。<答弁の詳細は市議会ホームページから検索できます。3月議会の本会議・委員会の会議録は、まもなくご覧いただけます。>

- ① 議案21号「豊橋市男女共同参画推進条例」:「財政上の措置を講ずるよう努める」の中身第2条「定義」の用語例にジェンダー・フリーが使われていない理由/「審議会委員10名以内」のうち公募委員を入れる考え
- ② 教育指導費:支援を必要とする子どもの実態/高機能広汎性発達障害児支援策
- ③ 教育総務費:[教育委員会制度]本市の状況、定例会の公開部分拡大、情報発信の考え
- ④ 児童図書業務費:子どもの読書活動推進計画/児童図書担当専任司書配置/ブックスタートとブックプレゼントの考え
- ⑤ 資源化センター費&歳入:ガス化溶融炉の余熱利用が可能となる条件/プラスチックごみ処理施設とガス化溶融炉との処理分担/スラグ、蒸気、電気等の歳入計画上の問題
- ⑥ 埋立処理費:処理予定量、休作補償費、「t」重さでなく、「?」かさで表記をする考え
- ⑦ 農業費:営農研修、農産加工場支援、環境保全型農業推進事業費の内容
- ⑧ 廃棄物対策費:生ごみ処理容器補助14年間の取組みと課題・講習会のあり方
- ⑨ 土木費:道路維持としての自転車放置対策、道路不法占有物等調査嘱託員の仕事の内容
資料:放置自転車対策市民運営による活用例は、それぞれの色が特色
オランダ(白色)/久留米市(水色)/台東区(黄色)
- ⑩ 緑化事業費:緑のリサイクル事業5年目の課題/率の向上、堆肥化の考え
- ⑪ 総務手数料<住基カード>:住基ネットの公的個人認証サービス/住基カード交付状況
- ⑫ 戸籍住民基本台帳費:結婚誕生記念新設の考え
- ⑬ 老人福祉総務費:個別の長寿祝金を合算して、地域福祉施策への発想転化の考え
- ⑭ 老人福祉施設費:高齢者雇用安定法とシルバー人材センター補助金の考え
- ⑮ 人事課:職員の能力開発/次世代育成支援行動計画を横断的に取組む考え

産廃と自然環境は共存できるか？

皆さんにとって、「産廃」はどんなイメージですか？
産業廃棄物。つまり、企業の製造・営業活動等から出る「ごみ」（食品残渣、鉄くず、廃油、建設廃材・・・）は、企業責任において処理（直接・委託）することになっています。リサイクルができないごみの最後の場所が、最終処分場。平成11年、豊橋市が中核市になって以来、新たな最終処分場の建設許可はおろしていません。

最終処分場には「遮断型」「管理型」「安定型」があります。（現在、稼働中の市内にある施設数）

のりこの考え

- 遮断型とは・雨水が入らず、浸出もしないように作られている。（0）
- 管理型とは・雨水やしみ出る水の処理する設備を持っている処分場（3：西七根、大岩、東細谷）
- 安定型とは・素掘りの穴に、有害物が発生しない安定5品目（金属くず・ガラスくず・陶磁器くず・廃プラスチック、建設廃材）をうめることができる。腐敗して有害物を発生させる有機物は持ち込めません。
（7：西山、西七根、大岩、牟呂、神野新田、石巻、西川）

1. 新たな安定型の処分場の設置を許さないこと！
2. 環境関連法の周知徹底を住民にも！
事業者と該当校区の住民、処分場の対象土地所有者とで充分に話し合うことが緊急の課題です。住民の皆さんは、関連する法律の情報を持つ場合が少なく、事業者や行政との対等な話し合も不十分なまま、決められた時間内での決断が迫られます。
3. 情報交換・情報収集の支援を！
産廃関連の法律は、常日頃から誰もが好んで身に付けておく内容には程遠く、問題が起きてから取り組むことで、後手になりやすい。常日ごろから環境問題の学習会などが身近にできるよう住民への支援が必要です。
4. 行政の立場を明確に！
行政は許認可権限と同時に、豊橋の環境問題への責任を持つための役割をはっきりさせること。許可後は民×民間の問題とされてしまうため、行政からの対処は後手にまわってしまいます。
5. 豊橋市民全体への情報提供を！
海に背を向け、海に頼らない生活様式が一般化しています。自然と離れて暮らす毎日からは、環境問題の解決は見えてきません。海と山の豊かな自然環境を体験できる機会を増やし、そこにある環境問題を、市民全体で考えるきっかけを作りだすため、議会質問を続けます。

実際に私たちの目に触れる最終処分場のほとんどが、いわゆる「ミニ処分場」です。

- ミニ処分場とは・・・
廃棄物処理法改正前に作られた小規模の処分場で、許可なしで作ることができました。その際、管理型1,000㎡未満、安定型3,000㎡未満が条件でしたが、不法投棄の対象となることが多く、法改正後は新設ができなくなっています。

のりこがかかわってきた市内の産廃問題

老津

'96年5月、堆肥化施設の悪臭問題を住民の方から相談を受けたのが始まりです。その施設は、現在は東細谷の畑の真ん中に移転。（住民と事業者間で「協定書」を結んだ場合、住民側が常時環境監視する責任が伴います。産廃施設を地域で引き受けることは、土地所有者だけの問題だけでは済まないことがよく知られるようになってきました。）

表浜の海水汚染

海岸をウォッチングする方々からの情報が一昨年頃から刻々と入るようになり、昨年は表浜への関心もおおいに高まりました。市も海水調査、海へ流れる川の水質調査などの取り組みを始め、市民協働の一歩となったと思います。長年の課題が山積しており、市側の今後の取り組みを期待しています。（豊かな緑の間からは波音。この太平洋の自然を守るため、命をかけて闘い続けている人たちのことを忘れることはできません。）

細谷校区

昨年春、住民の方からの情報で、堆肥が過剰に田畑に投入されている現状を目の当たりにする。長年にわたる産廃の、野ざらし・過剰堆積状態による、周辺環境問題など、看過できない状況です。（細谷地区での学習会に参加しながら、地域の皆さんと情報共有に努めています。）

杉山町 若松町

議会陳情がきっかけで、公共最終処分場、堆肥化施設の悪臭問題を知り、とにかく、住民の皆さんの声をじかに聞くことと、交流を始めました。ことに「悪臭問題」は法の前では住民の立場が弱い。（住民の皆さんが毎日の生活を続けながら環境問題を運動として取り組む困難さと、町をあげて知恵を出し合い、粘り強く業者と話し合い乗り切るたくましさも学んでいます。）

街かどデイサービス



小規模多機能ホームとしての 「宅老所」に高まる期待

のりこの考え

来年、宅老所・グループホームの全国大会が来年名古屋で行われます。そのプレ・フォーラム（5月23日）に参加しました。年令・高齢・障害を区別せず、一緒に、「地域で助け合い」というくくりのなかで取り組む「宅老所」は、ますます大切な役割を担ってきます。全国の報告の中で、桑名市の宅老所「ふるさと」の報告が心に残りました。

豊橋からも私の知る限りこのフォーラムに5施設から参加があり、心強い限り。街かどのデイサービスを拡充することで、在宅介護の質が高まり（介護する・されることが、生き方としても納得できる）、痴呆と看取りまでを地域で取り組むことが可能となる道筋が見えてきました。コーディネーターのお一人である高間睦さん（中日新聞記者）の資料の中のコメントが今の私の気持ちにぴったりきましたので、書き写します。

・・・急激な少子・高齢化が家族を弱め、子どもと障害者と高齢者が孤立しがち。自治会ごとに「宅老所」「多世代の家」、小学校区に「デイサービス／デイケア」中学校区に「グループホーム」と、在宅ケアを張り巡らせ、それを特養、老健、療養型の施設サービスや医療サービスと結びつけます。世代間交流の中に介護を位置づけて、共生する地域づくりを築いていきたい。

街かど福祉は、宅老所とグループホームが担い手になり、保険者の市町村の支援が望まれます。・・・

昨年高槻市視察で「街かどデイサービスきらら」を訪問（03年視察記録『ゆっくりゆっくりまちづくり』）。今年は、仙台の「せんだんの杜」視察を予定。小学校区のデイサービス／デイケアでは、昨年度、市民プロジェクトとして、栄校区の地域福祉拠点である、＜弥生王寿園＞で地域交流会を3回開かせていただきました。次に私たちは、地域のできる取り組みとして、高齢化率の高い栄校区で、宅老所の可能性を探るため、南栄ふれあいセンター、家庭館、町内公民館での、「ちょこっとデイ体験」などを考えています。じっくり、地道に、ちょっとずつの取り組みを通して、一緒に活動できる人の輪も広がることを期待しています。

なんといっても、私のこの考えの原点には、30年前、まどか文庫の仲間だった牧野さんの言葉「子どもたちが文庫から育った次は、年をとった私たちが利用できる文庫にしたいね。」があります。富山市の小規模多機能ホーム＜このゆびと一まれ＞（02年視察記録『心が笑うまちづくり』）訪問時でも、まどか文庫の活動に重なる喜びを発見し、街かどデイサービスへの確信を強くしているこのごろです。「南栄に宅老所を！」の夢実現へ、今年は一歩前進したいと思います。

記録 のりこネット議会・地域活動

3月	1日（月）	本会議＜予算大綱説明＞請願・陳情締め切り	20日（火）	農業委員会（傍聴）	
	2日（火）	一般質問提出	21日（水）	絵本展反省会（中央図書館）	
	4日（木）	議運（傍聴）	23日（金）	花うさぎの会例会	
	5日（金）	本会議（一般質問）	24日（土）	住基ネット杉浦英樹氏講演会（カリオン）	
	8日（月）	本会議（ " ）	26日（月）	学校図書館司書の集い	
	9日（火）	本会議（ " ）	30日（金）	議運（傍聴）「て？ぶる13号」発行	
	10日（水）	予算特別委員会・議運（傍聴）	5月	2日（日）	澄心会丸井先生お祝い会（岐阜市）
	11日（木）	本会議・予算特別委員会		6日（木）	愛知ネット例会（伏見プラザ）
	12日（金）	予算特別委員会		8日（土）	衣装ケース生ごみ処理作業（東細谷） 南部産廃施設見学
	16日（火）	予算特別委員会		9日（日）	第6方面隊操法大会（南部中）
	18日（木）	予算特別委員会		10日（月）	議運（傍聴）
	19日（金）	予算特別委員会		11日（火）	農業会議への要望書提出に同行
	20日（土）	第11回ぶっか？（交通児童館）		14日（金）	5月臨時会
	21日（日）	栄生町内会で「リグ（図上訓練）」		15日（土）	第12回ぶっかー（交通児童館）
	22日（月）	予算特別委員会／音楽ホールの意見交換		16日（日）	ソフトバレーボール大会（南部中）
	23日（火）	南栄まちづくり部会		18日（火）	女性会館会合／ミニまんま／映画「ほたるの星」
	24日（水）	議運（傍聴）		20日（木）	？21日（金）議員のための図書館セミナー（岐阜市）／条例学習会
	25日（木）	本会議／議員&職員懇親会		22日（土）	栄小運動会
	26日（金）	絵本展打合せ／まんまの会反省会		23日（日）	宅老所&グループホーム交流あいちプレ・フォーラム（ウイル愛知）
4月	3日（土）	駅前会場絵本展オープニング（？11日）		25日（火）	まんまの会／岐阜県安八町立図書館訪問
	6日（火）	栄入学式		28日（金）	花うさぎの会／女性会館会合
	7日（水）	南部中入学式／水曜会		31日（月）	議運（傍聴）
	11日（日）	消防団懇親会			
	13日（火）	あいトピア絵本展オープニング（？18日）			
	15日（木）	廃棄物処理施設設置審議会公開を求める要望書を市長に提出			
	19日（月）	平成15年度政務調査費報告書提出			

9日
10時30分
のりこ登壇

傍聴にお出かけください

直接会場へどうぞ

6月議会日程

- 6月 8日(火) 陳情・請願締め切り
- 9日(水) 一般質問締め切り
- 14日(月) 本会議(*)
- 15日(火) 本会議(*)
- 16日(水) 本会議(*)
- 17日(木) 常任委員会
- 18日(金) 常任委員会
- 21日(月) 一般会計予算特別委員会
- 23日(水) 本会議(最終日)(*)

- ◆直接7階、8階(*)へどうぞ。
 - ◆時間詳細は議会事務局へ。
- TEL : 5 1-2910

議会同様、
右記の委員会も
傍聴できます。



農地部会

農振部会

教育委員会・定例会

- 6月24日(木) 10時～
- 7月22日(木) 10時～
- 8月19日(木) 10時～

- ◆市役所12階教育委員会室
- ◆問合せ先 教育委員会総務課
- TEL : 51-2805

農業委員会

- 6月21日(月) 9:30～ 東83
- 7月20日(火) 9:00～ 東82
- 8月20日(金) 9:30～ 東123

- 7月 2日(金) 13:30～ 東85
- 8月19日(木) 13:30～ 東81
- ◆問合せ先 TEL : 51-2955

投稿

絵本展から見てきた松葉の子ども施設 東小鷹野 鈴木晴子

去る4月3日から18日まで、市内2会場で「世界のバリアフリー絵本展 in 豊橋」が開催されました。私も第1会場の駅前「都心活性課ビル」から、ボランティアとして、かかわらせていただきました。海外・国内合わせ80点余りの展示本・拡大写本・布絵本等、文字通り、障害のある方も、ない方も、ともに楽しめるものでした。

全く興味のなさそうな、髪の毛のツツツの高校生や、買い物ついで若いの女の子たちが、真剣に長い時間をかけて見たあと、「感動しました」と帰っていく姿にこちら胸が熱くなりました。

第2会場「あいトピア」では、いつもここを利用している障害をお持ちの方々も、楽しんでくださいました。

2つの会場ボランティアを経験して思ったことは、4年後にオープンする子ども関連施設も、たくさんの絵本があり、人のやさしさ・あたたかさあふれる所にしたいということです。0歳児から高校生、年配の方まで、さまざまな世代の方が集え、障害のある方も、ともに楽しめる場になるよう、心のバリアフリーを感じられるよう、オープンに向けてみんなで声を出していきたいものだと思います。

5月15日号広報で子ども施設応援団の募集がありましたが、ごらんになりましたか？大勢の皆さんが参加されるといいなと思っています。

渡辺のりこの事務所は
南栄ふれあいセンターにあります。
どうぞおでかけください！

電話・ファックス 0532-48-1203

URL <http://www.toyohashi-noriko.net/>

mail watanabe@toyohashi-noriko.net

g-watana@mx2.tees.ne.jp (市役所)

南栄駅
から東へ
徒歩1分

のりこネット 会員募集！

議会レポート、行事案内などお届け
します。ご入会をお待ちしています。

年会費 : 1,000円

郵便振替 : 00800-2-67037

「渡辺のりこ後援会」



編集後記 健康診断をしたら、視力が著しく低下している。コンタクトレンズを入れたまま0.6だった。おそらくパソコンのせいなのだろうが、使わないわけには行かない。今までも、このようにして視力は低下し続けてきたのだけれど、他の人はどう対処しているのだろうか。視力を取り戻す手術もあるそうだが、将来的にお世話になったりするのだろうか。(有)